

平成28年度 事業報告

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

【基本方針】

森林・緑の持つ多様な機能を持続的に発揮させるために県内においても県民やボランティア団体、事業者などの民間団体等を中心に緑化活動や森林づくりなどの自発的な活動への関心が高まっている。

このため、平成28年度事業においては、県民の緑化活動への理解を深めるため、イベント、パンフレット、ラジオ、新聞による普及啓発に努めた。

また、県をはじめとする関係機関や団体と連携をとりながら森林ボランティア活動を支援し、県民協働のもとに広葉樹を中心とする山間地の森林づくりや、平坦地の緑化を推進した。

緑の募金運動の展開に当たっては、市町緑化推進協議会と連携を図り、県民を始め森林ボランティア団体、緑の少年団等広範な県民の協力を得ながら多様な募金活動を展開した。

【会議等】

1 理事会

(1) 第1回通常理事会

平成28年5月9日（月）佐賀県庁新行政棟7階北会議室において開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

議 題

第1号議案 基本財産の運用方針について

第2号議案 平成27年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録（これらの関連附属明細書を含む）について

第3号議案 平成28年度定時評議員会の招集及び提出議題について

報告事項

- ① 役員の職務の執行状況について
- ② 基本財産の運用状況について
- ③ 理事及び監事の改選について

(2) 第2回通常理事会

平成29年2月20日（月）佐賀県庁特別会議室Bにおいて開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

議 題

第1号議案 平成28年度収支補正予算について

第2号議案 平成29年度事業計画及び平成29年度収支予算について

報告事項

- ① 役員の職務執行状況について
- ② 基本財産の運用状況について

(3) 臨時理事会（書面による決議）

通常理事会の他、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 197 条において準用する同法第 96 条及び定款第 39 条第 2 項の規定に基づく書面決議を次のとおり開催し、理事全員の同意及び監事全員の確認を得て承認された。

- ① 平成 28 年 4 月 6 日（水）
評議員会の招集及び決議事項（評議員 1 名、理事 2 名選任）に関する件
さが緑の募金運営協議会委員 3 名の選任に関する件
- ② 平成 28 年 4 月 4 日（木）
理事長選定に関する件
- ③ 平成 28 年 6 月 6 日（月）
理事長及び常務理事選定に関する件
- ④ 平成 28 年 6 月 29 日（水）
さが緑の募金運営協議会委員 1 名の選任に関する件
- ⑤ 平成 28 年 10 月 28 日（金）
さが緑の募金運営協議会委員 1 名の選任に関する件

2 評議員会

(1) 定時評議員会

平成 28 年 6 月 1 日（水）アバンセ特別会議室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

決議事項

- 第 1 号議案 理事及び監事の改選について
- 第 2 号議案 評議員の改選について
- 第 3 号議案 平成 27 年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録（これらの関連附属書類を含む）について

報告事項

- ① 平成 27 年度事業報告について
- ② 平成 28 年度事業計画及び収支予算について
- ③ 基本財産の運用方針について

その他

助成事業の実施期間に関する検討結果について

(2) 臨時評議員会（書面による決議）

定時評議員会の他、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条及び定款第 23 条の規定に基づく書面決議を次のとおり開催し、評議員全員の同意を得て承認された。

- ① 平成 28 年 4 月 14 日（木）
評議員 1 名の選任に関する件
理事 2 名の選任に関する件

3 緑の募金運営協議会

(1) 第1回運営協議会

平成28年7月14日(木)佐賀県庁新行政棟7階北会議室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

決議事項 運営協議会委員長の選出について

報告事項

- ① 平成27年度緑の募金事業報告及び収支決算について
- ② 平成27年度緑の基金助成事業実地検査の結果について

審査案件

平成28年度緑の募金助成事業について

その他

平成29年度以降の運営協議会の開催時期について

(2) 第2回運営協議会

平成29年1月25日(水)佐賀県庁特別会議室Bにおいて開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

議 題

- ① 平成28年度緑の募金事業収支補正予算について
- ④ 平成29年度緑の募金事業計画及び収支予算について

【 公益事業1 (一般事業) 】

一般事業では、基本財産の運用収入、(公社)国土緑化推進機構等の助成金及び受取寄附金(緑化普及積立資産)等を財源として、以下の主要な事業を実施した。

なお、今年度において、基本財産の運用方針の見直しを行い、投資有価証券について満期保有目的の債券から債券の売却が可能となるその他有価証券に変更するなどしたところである。

1 緑の普及啓発事業

[決算額 9,510 千円]

(1) 普及啓発

[決算額 7,725 千円]

- ① 県民の緑化意識の高揚と県民参加の緑化運動を推進するため、ラジオ、新聞による情報発信を行った。緑あふれた地域づくりの気運の醸成を図るため、苗木などの普及資材を配布するとともに、緑化関係行事等に参加した。
- ② 森林・緑に対する理解を深めるとともに緑化意識の高揚を図るため、学校関係者及び市町教育委員会などの協力を得て、(公社)国土緑化推進機構と連携し小・中学校、高等学校の児童、生徒や一般県民を対象に標語の募集を行い優秀者には知事賞を授与するとともに、当法人のホームページへの掲載やよかウッドフェスタ会場での掲示を行い意識の高揚に努めた。

また、優秀作品10点を国土緑化運動の審査会に推薦した。

- ③ 県民が緑とふれあい、うるおいと安らぎのある緑豊かな環境を促進するため、県民から寄せられた様々な相談に応ずるとともに、植樹活動に対する助言・指導を行った。
- ④ 県内の小・中学校等からの要請を受け、学校や脊振山などの現地や林業試験場内で森林環境教育を行った。
- ⑤ 県内の森林ボランティア活動に必要な作業用具の維持管理、用具の貸出及び使用方法などの指導を行った。
- ⑥ 森の名手・名人100人の推薦、認定書の伝達
 (公社)国土緑化推進機構が行う「もりの国・日本運動」の「森の名手・名人」の森づくり部門として「中島 清光(鹿島市)」を、加工部門として「池田 孝雄(武雄市)」をそれぞれ推薦し、選定されことから認定書の伝達を行った。

○ 参加した主な緑化関係行事等

行 事 名	実施年月日	開催場所
第67回全国植樹祭	平成28年6月5日	長野県長野市(長野オリンピック記念アリーナ エムウェーブ)
全国緑の少年団活動発表大会	平成28年10月8日	京都府綾部市 (京都府中丹文化会館)
第40回全国育樹祭	平成28年10月9日	京都府南丹市(府民の森ひよし)

(2) 新1年生記念樹配布 [決算額 258 千円]

新しく新1年生として入学する子供たちに、緑を育み大切にする心を育てるため、市町教育委員会と連携し、県下の小学校や特別支援学校等のうち希望する学校50校にヤマザクラやサザンカなど14種72本の記念樹を配布した。

(3) よかウッドフェスタ及び緑化祭 [決算額 1,527 千円]

森林・緑は県民共通の財産として社会全体で守り育て、未来に引き継いでいくという意識を醸成し、県民協働による豊かな広葉樹の森林づくりを進めるため、佐賀県との共催により「どん³の森公園・アバンセホール」を会場に「よかウッドフェスタ及び緑化祭」を平成28年11月13日(日)に開催した。

主な開催行事として、

- ・ 緑化功労者(団体、個人)、優良緑の少年団及び緑の募金高額寄付団体の表彰並びに森の名手・名人認定証の伝達
- ・ 緑の少年団105名によるソメイヨシノ2本、ヒメクチナシ100株及びガザニア100株の植樹や緑の少年団活動発表大会
- ・ 併催イベントとして、地元の郷土芸能の披露・餅投げ、チェーンソーアートや木の実工作やふれあい木工工作などの森に関係した多彩な催し及び緑化相談会などを行い、約2千人の参加者に森の恵みを活用したイベントで楽しんでもらうとともに緑化の推進を図った。

2 提案公募型緑づくり活動支援事業 [決算額 2,064 千円]

C S O等から企画提案された特色ある森林づくり(地域に密着した様々な夢のある森林づくり)、森林環境学習会の開催や竹林の保全と活用事業など企画提案された4事業を採択支援した。

- ・ 荒廃した森林や里山に広葉樹等を植栽し、地域の環境保全づくりなどを旨す武雄市内の地域団体2団体の取組
- ・ 県産間伐材を利用したシイタケ菌打体験及び森林環境学習会を開催することにより、地域の森林整備等への関心を高めるとともに、自然環境保全の心を育み取組
- ・ 水害防備林である兵庫竹林の保全とあわせ、市民参加による竹林の活用と保全活動に関する取組

など魅力ある地域作りに取り組む4団体に助成することにより緑化の推進を図った。

3 緑と水の森林基金助成事業 [決算額 748 千円]

緑の探検学習会及び緑の少年団活動発表大会 [決算額 748 千円]

緑の少年団の自主性・協調性を養うとともに、自然や緑の大切さを理解し、環境美化や緑化活動に積極的に参加する心を培うため、自然豊かな佐賀市富士町において緑の少年団探検学習会及び緑の少年団活動発表大会を開催した。

○ 緑の少年団探検学習会及び緑の少年団活動発表大会

日 時：平成28年8月4日(木)

会 場：佐賀市立小中一貫校北山校体育館・中原神水川公園

参加者：緑の少年団、指導者等 295名

行 事：活動発表大会(地区代表7団体)最優秀賞1団体、優秀賞1団体
体験活動

- ・ 神水公園の森での森林整備体験(散策路チップ蒔き、木の名札製作・取付)
- ・ 森のクラフトづくり体験(貝殻や木の実等を使用した壁掛けづくり)

4 国土緑化推進機構受託事業 [決算額 72 千円]

国土緑化推進機構からの受託事業として、森の名手・名人及び公募事業などの募集・推薦並びに学校環境緑化モデル事業実施に対する指導のほか、全国の幼稚園等を対象に実施されている「巡回森の教室(どんぐりくんと森の仲間たち)」を佐賀市、鹿島市及び伊万里市内の幼稚園や保育園9箇所で開催した。

5 事業推進事務費 [決算額 2,422 千円]

【公益事業2（緑の募金事業）】

県民総参加による「緑の募金」運動を展開し、市町緑化推進協議会、ボランティア団体、緑の少年団等の協力により家庭募金、企業募金、学校募金、街頭募金を実施した。

募金目標額は58,000,000円としたところであるが、企業募金などで目標額を下回ったことから目標額は達成することが出来なかった。

○ 募金実績額：56,680,806円（約1,319千円2.3%の減）

○ 運動期間 春：平成28年3月1日～ 5月31日

秋：平成28年9月1日～10月31日

1 緑の少年団等育成事業 [決算額 4,496千円]

(1) 活動・交流支援 [決算額 4,259千円]

緑を守り育てる心を養うことを目的に、年間を通じて様々な緑化活動を行っている緑の少年団45団に対し、日常の活動費や緑の少年団制服の購入への助成を行った。

また、県内3地区で地域住民や子供達の交流を促進し、地域の特性を生かした多様な緑化活動を行った。

① 佐賀中部・鳥栖地区

期 日：11月27日

実施場所：佐賀市大和町 佐賀県林業試験場 平成子ども記念の森学習館

参加者：60名

行事内容：100種類の標本木で木の種類・特徴によって木の使われ方、樹皮や切った木の表面の違いなどの特徴を学ぶとともに、どんぐりなど森の材料を使ったクラフト体験を通し地区内の少年団相互の交流を図った。

② 武雄・鹿島地区

期 日：1月29日

実施場所：武雄市 佐賀県立黒髪少年自然の家

参加者：116名

行事内容：100種類の標本木を選んで、木ごとに異なる重量や感触・種類や木はだの違いや、日本の季節行事と植物の関わりについて学とともに、竹や木の実を使ったウッドクラフト体験を通し地区内の少年団相互の交流を図った。

② 唐津・伊万里地区

期 日：3月5日

実施場所：唐津市 佐賀県立波戸岬少年自然の家

参加者：59名

行事内容：地域環境に適応して木が生育することを検測桿や聴診器等を用いて体験するとともに、浜辺の石・貝殻・木の実等を使用したストーンクラフト体験を通し地区内の少年団相互の交流を図った。

(2) 佐賀県緑の少年団連絡協議会助成 [決算額 237千円]

県内の緑の少年団育成・交流事業や少年団指導者研修会開催等に要する経費に対し助成することにより、県内の緑の少年団の健全な育成、強化及び指導者の育成を図った。

2 緑化ボランティアの育成事業 [決算額 865 千円]

(1) 森林づくりボランティア団体等育成活動支援 [決算額 565 千円]

① 県内で様々な森林づくり活動を実施している「森林づくりボランティア」は、現在 29 団体が登録しており、このうち申請のあった 8 団体の活動に要する経費に助成した。

② 森林ボランティア団体の育成、活動を広げるために、森林ボランティアリーダーを育成する研修を実施した。

期 日：3 月 1 8 日

場 所：伊万里市大川町 駒鳴自治公民館

参加者：親林交流指導員、ボランティアリーダー及び一般参加者 17 名

内 容：環境先進国であるドイツにおける NPO 団体の取り組みや、人材育成などの取組を中心とした講演や成章中学校生物クラブの地域森づくり活動発表のほか、地域の荒廃した人工林を整備し、炭焼き体験、ボルダリング施設などを有する体験型学習フィールドを見学し指導者の育成を図った。

講 師：NPO 法人かいろう基山 理事 出口 容子

駒鳴里山保全の会 代表 野崎 忠秋

(2) 親林交流指導員の派遣 [決算額 300 千円]

学校や公民館等で開催される環境教育、自然観察会など要請のあった学校、地域の団体等 14 団体 15 件の派遣要請に対し、基金に登録している親林交流指導員延べ 23 名を派遣・斡旋し緑化の普及を図った。

このうち、12 団体 13 件について、講師謝金等を基金が負担した。

対象団体：中学校、放課後児童クラブ、地域振興会など

対 象 者：幼稚園児・小中学生・保護者、一般県民など 延べ 413 名

3 こだまの森林・緑づくり事業 [決算額 7,999 千円]

(1) 緑の県土づくり活動支援 [決算額 7,798 千円]

① 地域のボランティアを中心に、広く参加者を募るなどして行う「シンボルの森、水源の森、海の森」などの森林づくり（植栽、下草刈り、枝打ち等）を行った 6 協議会 15 団体、また平坦地、里山などにおける緑づくり（植栽、下草刈り等）を行い地域の環境整備を行った 6 協議会 9 団体に対し助成することにより緑化の促進を図った。

② 県各地域で活動している「緑化・美化ボランティア」の登録団体（121 団体）のうち申請のあった 6 市 23 団体に対し、苗木等の資材購入費を助成することにより緑化の促進を図った。（1 団体 20 千円以内）

(2) 国際緑化 [決算額 201 千円]

オイスカ佐賀県推進協議会が広大な禿げ山が広がるフィリピン・南イロコス州カブガオ地区、アブラ州ガッタニ地区の植林プロジェクトの一環として、マングローブ・マホガニー・アカシヤなど 3 種 2500 本を植樹し現地の緑化促進に寄与した事業に対し、

助成を行うことにより国際緑化の促進を図った。

4 市町緑化の推進事業 [決算額 33,819 千円]

- ① 市町推進協議会がイベント等を通じて行った募金活動や植樹祭、各種行事での苗木等の配布などの普及啓発事業に助成を行うことにより緑化の促進を図った。
- ② 県内16市町の市町推進協議会や自治会等が行った地域の公園、街路、学校、公民館、社会福祉施設等公共的施設などの地域の緑化に対し助成を行うとともに県内の名木、古木の治療を行い保存維持に努めた事業に対し助成することにより緑化の促進を図った。

5 募金活動の推進事業 [決算額 5,106 千円]

緑の募金の周知徹底を図るため、新聞広告やラジオによる広報活動を行うとともに、ポスター、チラシの作成・配布等による普及啓発活動を行った。

また、官庁、企業等で職場募金として行う募金活動に必要な資材を購入し募金の拡大に努めた。

6 国土緑化推進機構交付金 [決算額 2,209 千円]

全国的な見地から行う森林の整備、緑化の推進及びこれらに係る国際協力並びに東日本大震災復興のための緑化事業を進めるため、(公社)国土緑化推進機構に対し、募金額に応じて交付した。

交付金=定額割額(500千円)+定率割額(当該年(暦年)の募金実績(千円)×3%)

7 事業推進事務費 [決算額 5,915 千円]